緑のネットワーク通信

グリーンノート

No. 63　7月号　発行日　平成23年7月20日

癒しの苔玉づくり　（活動報告）

《緑のコーディネーター　黒瀬　恵子さん》

去る6月25日（土）、城南区堤団地の集会所で苔玉講座が開催され、講師をさせていただきました。今回の苔玉講座のお話をいただいた時、「苔玉に毎日話しかけて癒されている」「1人暮らしの高齢者に苔玉は良い」など、苔玉が日々の暮らしのなかで与えている癒しの効果について、お聞きすることができました。

高齢者向けの苔玉づくり体験ということで、苔玉に使う植物を高齢者の方が懐かしく感じられるものや、親しみのある“ナンテン”や“斑入りヤブラン”なども取りそろえ、苔玉の作り方がより分かりやすくお伝えできるよう、苔玉の大きな模型も準備しました。

当日は、会場がいっぱいになるほどの参加者で、苔玉づくりは大人気でした。参加者のなかには、植物を扱うのが初めて、という方も何名かいらっしゃいましたが、苔玉づくりはケト土を丸めて作るので、子どもの頃のどろ団子作りを思い出されたり、おはぎ作りを連想されたのかもしれません。ともあれ、会場は楽しい雰囲気に包まれていました。

楽しんで苔玉づくりをされた皆さまが、苔玉を育てることを、またひとつの楽しみとして、これからも益々お元気で、いきいきと生活されることを願っています。

スタッフとして一緒に講座を担当してくださった金澤美恵子さん、お疲れさまでした。そして、今回の講座を企画してくださいました「堤団地ほのぼのクラブ」の皆さま、ありがとうございました。

紙面をお借りしてお礼申し上げます。

苔玉の模型を使ってひものかけ方を説明

お隣との会話もはずみ、それぞれに苔玉完成

目次

・癒しの苔玉づくり　1

・憧れのイギリス13日の旅　2

・緑の活動団体紹介　鳥飼花クラブ　3

・緑のｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成講座開講　4

・第10回花と緑のまちづくり賞募集

・緑のカーテン

・福岡市植物園からのお知らせ

記事投稿のしかた

本誌に記事を載せたい方は事務局にご連絡の上、記事内容を書面（メール可）で提出してください。記事の量によっては、重要箇所のみの掲載となります。活動参加者募集等を行う場合は、必ず**連絡先、連絡方法**を明記してください。8月号（8月20日前後発行）への投稿〆切日は8月10日です。それ以降の投稿は9月号への掲載になります。

グリーンノートのバックナンバーは協会ホームページに掲載しています。
http://www.midorimachi.jp

（発行元／事務局）

福岡市住宅都市局
公園緑地部緑化推進課
TEL ７１１－４４２４
FAX ７３３－５５９０
（公財）福岡市緑のまちづくり協会　みどり課
メールアドレス：
anjyu.t@midorimachi.jp
TEL ８２２－５８３２
FAX ８２２－５８４８

憧れのイギリス13日の旅　6月1日(水)～6月13日(月)

《緑のコーディネーター米倉　治美さん》

ガーデニングに関心がある、女性たちの憧れの地「イギリス」。そんなイギリスの「庭園を見たい!」と、園芸ボランティアで共に活動をしている女性4人でイギリスへ行って来ました。

左から山﨑、二俣、米倉、松永

イギリス13日間・庭三昧の報告をさせていただきます。

某旅行会社の「憧れのイギリス8日間」のツアーと７日目からはツアーから離団して4人フリーの旅。英会話は中・高校で習った程度。「４人寄れば文殊の知恵」と、おばさんパワーを発揮する旅となりました(笑)。訪れたのはロンドン、世界遺産が眠るバース、イングランドで最も美しいといわれる湖水地方、そして、のどかな田園風景が広がるコッツウォルズ地方など。

■謎の巨大世界遺産　ストーンヘンジ

イギリスが誇る世界遺産、古代環状列石。（ストーンサークル）どんな方法で巨大な石を運んだのか、目的は一体何なのか、いまだ多くの謎に包まれたストーンヘンジ、考古学関係者による研究が続いています。

◀ 散歩の途中、住宅街の庭で見つけた花壇。どこかストーンヘンジを連想させます。

■英国のロマン派詩人ワーズワースが残した「ライダムマウント庭園」

自然や歴史的遺産などを開発などから守るため、多くの人が資金を出し合って土地などを買収、管理などをする「ナショナル・トラスト運動」。ここもナショナルトラストが管理しています。※イギリスはナショナル・トラスト発祥の地。

■世界で一番美しいといわれるバイブリーの村

まるで中世の時代へとタイムスリップしたような、ここには静かな時間が流れていました。古民家と庭とが調和し、自然をありのままに再現された庭づくり。絵画の中にいるような幸せ感に浸れました。

■キフツゲート・コート・ガーデン

女性三代に渡って作られてきた庭園は、時代とともに歩んできた歴史を感じることができます。

現代芸術を見ているようなモダンなウォーターガーデンです。

■ヒドコート・マナー・ガーデン

１９０７年に、米国出身のローレンス・ジョンストン氏によって、約３０年もの年月をかけて造られた庭園。まず庭の広さに驚かされました。世界各国から集められたさまざまな花や植物の種類、色、形など。庭園を歩くと次々と趣の違う庭が現われ「わーきれい！」「すご～い」と歓喜の渦でした。

▲ トピアリー(円錐や球体の幾何学的な形に樹木を刈り込む技法)とロックガーデンのコラボレーション。
※トピアリーは16世紀以降のヨーロッパで普及したといわれています。

英国式庭園は15世紀頃からイタリア、フランス、オランダなどの影響を受けて、様々な様式で発展してきました。かつては王侯貴族中心に発展してきたイングリッシュ・ガーデンは、主流貴族から一般庶民へ。装飾・造形的なものから、より自然な形へと変化してきました。一つの庭も時代背景の視点から眺めると、長い歴史の時空感の旅へと誘(いざな)ってくれます。今回の庭三昧の旅は「チョット知的＋大人の贅沢な時間」となりました。

緑の活動団体紹介

～鳥飼花クラブ～

アイランド花どんたく
のプレート

ヒマラヤユキノシタ
年２回花が咲きます。

【場　所】城南区鳥飼校区ウエルカムガーデン
　　　　　鳥飼校区内４公園
【会員数】４３名

鳥飼花クラブは、平成１７年にアイランドシティで開催された「アイランド花どんたく」のウエルカムガーデンがきっかけで発足した団体です。

樋井川沿いの遊歩道花壇には、主に多年草を植えています。何といっても見事なのは３年物の“ゼラニューム”です。取材に行った６月１５日は、ちょうど花が終わって花がらを摘み終わったところでした。梅雨明けには密集したゼラニュームは、株分けして大切に育てています。切り戻しを行って、秋まで写真のような見事な花が咲きます。

ユリの花もちょうど綺麗に咲いて、２区画ある内の１区画分は、作業に見えた方のお礼に切り花として持ち帰ってもらったそうです。ユリの球根は２年に一度掘り起こして、花が小さくなるのを防ぐとともに、殺菌のため乾燥させます。

川沿いに咲いた“ゼラニューム”
手入れが行き届いてます。

奥から“アガパンサス”
“ヒマラヤユキノシタ”
手前は“シラン”です。

２区画あるユリの花
１区画は切り花としてお持ち帰り。
うれしいお土産です。

６月に植えかえた苗は“マリーゴールド”“サルビア”です。ほとんどの苗は購入しましたが、昨年採取した種から育てた苗もあります。鳥飼校区内の公園にも植えました。

秋には“パンジー”“ビオラ”を植えます。毎月の作業には、３０名程度の方が参加されています。

また、毎週水曜日には町内の方が遊歩道の清掃を行っています。１丁目～７丁目の丁目ごとの当番制になっています。（合同で行っている町内もあります）こちらも30～４０名の参加があります。

町内の皆様が協力して、明るく綺麗な街づくりを行っているのが伝わってくる清々しい通りです。

皆さまも是非お出かけください。

６月に“マリーゴールド゛”と
“サルビア”を植えて、夏らしい花壇
になりました。

昨年１１月の植え替えの様子
奥の“サルビア”も健在です。

道具や肥料を置いておく倉庫
奥が育苗施設になっています。

緑のコーディネーター養成講座（５期生）開講

皆さんの後輩にあたる、緑のコーディネーター養成講座が始まりました。今年度は４７名の受講生でスタートです。受講生の皆さんのちょっと緊張した顔と真剣な眼差しを見ると、こちらも新鮮な気持ちになります。

第１回目は７月５日（火）に開催されました。講師は九州大学、朝廣和夫先生でテーマは“都市緑化における市民の役割”でした。

今回の講座から先輩コーディネーターにアドバイザーとして参加してもらっています。第１回目は山口雅嗣さんに、講座を受講するきっかけから、現在に至るまでの活動内容、今後の展開まで、分かりやすくお話して頂きました。

第２回目は７月２３日（土）活動現場の見学に行きます。

山口さんの具体的なお話を聞いてコーディネーターのイメージがつかめたようです。

第１０回花と緑のまちづくり賞募集

いつも「花と緑のまちづくり賞」にご協力していただき、ありがとうございます。

第９回の一次選考は、７月５日（火）に開催されて、二次選考は７月２７日に行う予定です。入賞者の発表は、次回の「グリーンノート」でご報告させていただきます。

第１０回花と緑のまちづくり賞から、年間を通して応募の受け付けを行うことになりました。自薦・他薦は問いませんので「ここ綺麗」「素敵な緑化空間」と思われたら、写真を撮って応募用紙に必要事項を記入のうえ、ふるってご応募ください。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。

応募締切：平成２４年６月３０日

【問合わせ先】

（公財）福岡市緑のまちづくり協会　みどり課　中原

緑のカーテン

緑のまちづくり協会では、福岡タワーのレストラン前にも「朝顔のカーテン」を設置しています。百道浜の強い風にも負けず、けなげにつるをのばしています。

みなさんの所はいかがですが？

6月号でお知らせしていました「緑のカーテンコンテスト」の募集が始まります。　募集期間：8/1～9/30

【問合せ先】

福岡市環境局温暖化対策課

電話：711-4282

福岡市植物園からのお知らせ（情報提供）

こんにちは　福岡市植物園です。

緑のカーテンや観察日記の題材として、よく用いられるアサガオですが福岡市植物園では、江戸時代から鑑賞されてきた「変化アサガオ」を７月２６日から展示します。一風変わったアサガオをご覧になってみてください。

また、８月の毎週土曜日は『夜の動植物園』を開催します。１８時に再開園し、昼間では見ることのできない植物の開花や、動物の様子を楽しむことができます。是非、動植物園へお越しください。

◎展示会◎

・変化アサガオ展　7/26～8/28

　@温室ギャラリー室

・こどもスケッチ大会作品展　7/26～8/２８

　@情報館１階

☆植物園ホームページ

http://botanica1-garden.city.fukuoka.lg.jp/

変化アサガオの一つ

人事異動の
＊　ご挨拶　＊

【福岡市緑化推進課】

7月1日付の人事異動で、活動支援係長として着任しました。

立花澄人（たちばな すみと）　です。

よろしくお願いします。